

学校法人文理学園日本文理大学 × 大分県

学校法人文理学園日本文理大学は、自法人の施設を整備するにあたり、県産材を積極的に活用することにより木材の良さを広くPRするとともに、木材利用を通じて、大分県と連携して県産材活用推進に努める人材を育成し、2050年カーボンニュートラルの実現等に貢献していくとの構想を実現するため、大分県と協定を締結しました。

大分県産材の利用拡大等に向けた建築物木材利用促進協定

➤ 日本文理大学の木材利用の促進に関する構想

自法人施設を整備するにあたり、県産材を積極的に活用することにより、木材の良さを広くPRするとともに、木材利用を通じて、乙と連携して、県産材活用推進に努める人材を育成する。また、化石燃料による二酸化炭素排出を削減することで、大分県の森林資源の有効活用及び2050年カーボンニュートラルの実現等に貢献していく。また、合法伐採木材等の利用を促進することにより、SDGsに貢献していく。

➤ 構想の達成に向けた取組の内容

- ・新たに整備する東屋等の施設において木造化及び木質化を行う。
- ・県と連携して、木材利用の意義やメリット等を積極的に情報発信する。
- ・人材育成のため、林業・木材産業についての研修や森林環境教育等を推進する。

➤ 構想の達成のための大分県による支援

- ・技術的助言や活用可能な補助事業等の情報提供
- ・定期的な意見交換や木材利用に関する相談窓口・専門家の紹介
- ・本協定に基づく取組を優良事例として積極的に広報

協定締結日：令和8年6月22日

有効期間：協定締結日から令和13年3月末まで

対象区域：大分県